



関川村

第136号

令和6年(2024)

8月15日発行

議会だより



じゃ〜む! 道の駅で営業中!!

- 会議報告 2 ページ
- 一般質問 7名登壇 4 ページ
- 関川村議会基本条例制定に向けて 7 ページ
- 議会モニターアンケート対応 8 ページ
- 脱炭素調査特別委員会視察研修 9 ページ
- 村民の声 佐藤視卓^{さとうよしあき}さん 10 ページ



村のホームページでもご覧になれます。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 小澤 仁
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

会議報告

臨時会議

5月17日開催

臨時会議と6月定例会議の内容を抜粋して報告いたします。

■一般会計補正予算

4530万円追加

○防災行政無線実施設計業務委託料 450万円

鈴木紀夫 タブレット化に向けての予算か。

総務課長 そうです。基本設計が終わり、実施設計分の予算になります。

○道の駅周辺整備事業費 1600万円

◇渡辺邸裏の土地購入や整地などの整備にかかる案件です。

平田広 どの程度まで整地するのか。

地域政策課長 平坦にする

予定ですが砂利敷きや舗装は未定です。



渡辺邸裏(歴史館向かい)

○上野新若松線道路補修工事 1500万円

平田広 工事金額が大きい理由は何か。

建設課長 1200ミリのコルゲート管(排水用の波状パイプ)を交換するので金額が大きくなった。

■村有温泉特別会計補正

予算(第1号)専決報告 600万円追加

◇3号井貯湯槽更新工事にかかる案件です。

近壽太郎 金額が大きいのが、専決処分理由は。

地域政策課長 4月12日、

ゆうあい職員よりお湯の流出報告がありました。19日にメーカーより連絡があり、貯湯槽の入替えが必要との見解でした。お湯の流出がひどく緊急を要するため、30日に専決処分にしました。

定例会議

6月6日開催

◇議案9件、報告2件、同意5件、陳情2件、発委案3件について審議しました。

■せきかわふるさとエネルギー(株)の経営状況報告について

平田広 人件費の記載がない理由は。

脱炭素推進室長 現在は村職員で対応しており、新たな雇用が発生すると人件費に計上されます。

平田広 19万円あまりの赤字だが内容は。

脱炭素推進室長 流動負債の未払い法人税等が5万8200円。水道光熱費等の一般管理費が13万9844円となっています。

■地域マイクログリッド設備構築工事請負契約の締結について

◇脱炭素事業推進にかかる設備構築工事請負契約で、(株)イトラストに決定したことに關する案件です。

鈴木紀夫 2社の提案を審査し請負業者が決定したが、決め手になった理由は何か。

脱炭素推進室長 県内でも事業経験の実績があり、実現性と村への有益性を重視しました。

■一般会計補正予算(第3号) 1億2510万円追加

○松平畜産団地堆肥舎屋根修繕工事増工 1600万円

平田広 工事内容の詳細は。

農林課長 当初予定していたウレタン吹付け工法から、人が屋根に乗っても大丈夫な強度になるような塗料を塗る工法に変更をしました。



松平畜産団地堆肥舎

○せきかわふるさとエネルギー(株)投資及び出資金 490万円

鈴木紀夫 内容説明を。

脱炭素推進室長 アドバンテック社（せきかわふるさとエネルギー(株)の出資元）の出資金引き上げによる穴埋めです。

鈴木紀夫 出資金の引受先の見込みはあるのか。

脱炭素推進室長 現在、(株)アドバンス閔川工場と交渉を進めているところです。

閔川診療所特別会計補正予算について

○救急用人工蘇生器（新生児用）・骨髄針（新生児用）
9万円

鈴木紀夫 どのように使用するのか。

健康福祉課参事 人工蘇生器は手で圧迫して空気を送り込む装置です。また、骨髄針は血管に針を打てない場合に内くるぶしに骨髄針を刺します。

議員表決結果報告

区分	件名	小澤仁	加藤つや子	川崎哲也	近敬志	近壽太郎	加藤和泰	高橋正之	菅原修	平田広	鈴木紀夫	結果	
臨時	議案	一般会計補正予算（第2号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
6月定例	報告	せきかわふるさとエネルギー(株)の経営状況報告について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案	村税条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案	農業集落排水処理施設条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案	簡易水道事業条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案	地域マイクログリッド設備構築工事請負契約の締結	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案	一般会計補正予算（第3号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案	国民健康保険閔川診療所特別会計補正予算（第1号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案	介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	同意	農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	同意	農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	同意	農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	同意	農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	同意	農業委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	議案	一般会計補正予算（第4号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	議案	村有温泉特別会計補正予算（第2号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	報告	(公社)閔川村自然管理公社の経営状況報告について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	陳情	「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
	陳情	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める陳情	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	採択
	発委案	村議会会議規則の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発委案	村議会会議傍聴規則の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発委案	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める陳情	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	

○ 賛成 × 反対 — 議案が議員本人に関する場合や議長は採決に参加できません。

強くしなやかな人材育成を

教育長 あらゆる教育資源を活用



かとうかずひろ 加藤和泰 議員

問 これからの時代を生き抜くためには、社会の変化に対応しながらたくましく生きていける人材を育成していく事も重要と考えるが。

教育長 村の持続可能性を考えると、議員ご指摘のとおり社会の変化に強くしなやかに対応できる人づくりは重要であると受け止める。

本村は、令和2年度より始めたキャリア教育と郷土愛を育む教育活動の一環として、未来のハローワークを小学校6年生及び関川中学校の全生徒に広げて実施している。

今後、ふるさと関川を愛する気持ちをもって活躍している方を広く求め、子供たちがその出会

いによって自らを高めていく取組を継続発展させていきたい。

中学校の部活動地域移行はスムーズに進んでいるか

問 今後の移行スケジュールは。

教育長 関川村地域クラブ活動推進協議会を立ち上げ、部活動の段階的な地域移行に向けて協議を始めた。

令和6年度、既存のバスケットボールやバレーボールなど5つの運動部を9月から月一回の地域スポーツクラブ活動が出来るよう指導者の候補者に依頼する事としている。



生産年齢人口大幅減、村の創生は

村長 若者に選んでもらえる村づくりを進める



ひらたひろし 平田 議員

問 人口減少と共生した村の創生の考えを伺う。

村長 当村ではここ5年間を見ると毎年160人程度の人口が減少。若者対策が重要であり、子育て支援や定住移住支援、魅力ある村づくりを進めて来たが、今後も若者に選んでもらえる村づくりを粘り強く進めて行く。

ふるさと納税の更なる拡大に本腰を

問 県内では米を中心に納税額の飛躍的な拡大をしている自治体がある。村内産米の活用を図り寄付拡大を図る考えは。

村長 ふるさと納税は財源確保の他に村のPRや村内経済活性化等に繋がることから拡大に注力し

てきた。昨年度の実績は2178件・4508万円。米は549万円前年度に比べ倍増。米は村のメイン商品と認識しており、まだ伸びしろのある商品。寄付増へ当面は総額1億円ほどに引き上げたい。

若手職員の退職や育休取得状況は

問 全国的に自治体若手職員の退職者が増加傾向にあるが当村の状況は。

村長 当村も毎年数人の若手職員が退職される。理由は転職や体調不良、家族内の事情、結婚など。



村内にジビエ処理場の整備を

村長 財政も含め支援する



問 増加傾向にある有害鳥獣をジビエ肉として加工し村内に流通させ、飲食メニューや観光物産品などに活用するため、村内に処理場を整備する考えは。

村長 年々増加する有害鳥獣駆除の推進に加え、ジビエ加工販売など産業振興の面からも大変有益な取り組みと認識しています。関係者で機運を盛り上げ、構想を練りあげていただきたい。設備導入についても財政支援を含め支援していく。

問 機運は高まっています。構想の段階から同じテーブルで協議できないか。

村長 行政も積極的に参加させていただく。国・



県の制度も有効に使い支援する。

**職員の
村民採用枠新設**

問 防災面や地域内経済循環の観点から、村内在住者より職員採用が望ましいと考える。地域担当職員の活動もより一層地元で密着した活動が期待できるが、村民採用枠新設の考えは。

村長 近年、応募者が少ない状況にあり採用に苦慮している。有能な職員確保には広く公募しなければならず、現状は難しいと考える。

福祉サービスは充実しているか

村長 事業所数は国や県平均より充実



問 村の介護サービスは十分に提供されているか。また、必要なサービスが不足していないか伺う。

村長 現在、介護サービス事業所が18ヶ所、高齢福祉施設が2ヶ所、サービス付き高齢者住宅に代わる軽費老人ホームがあり、サービス不足とは考えていない。また、村内にない介護医療院などは近隣の施設が利用可能である。

問 介護の担い手不足が大きな問題。介護従事者や介護事業所への支援を考えているか。

村長 令和5年度に介護支援事業所へ電気料高騰対策補助金を交付。介護従事者不足に県の介護人材確保対策関連事業を紹介しているが、今後も必要な対策を行っていく。



**コラッシェの
運営拡大を**

問 午前中の営業日を増やす考えはないか。

村長 午前中は運動教室やシニアの温泉運動、地域での運動指導で現状では難しい。

問 集落支援員の補充も含め、福利厚生充実と指導員育成が重要ではないか。

村長 コラッシェ指導員(集落支援員)の処遇改善を図り体制を整えていく。教育課長 コラッシェの指導員育成は、パートナーについても研究していく。

集落機能維持の課題と対策

村長 まずは地域での話し合いから



近 壽太郎 議員

問 村の54集落のうち24世帯以下の小規模集落が7割ある。小規模集落の機能維持にどのような検討が必要か。

村長 村民からは集落役員の後継者不足、作業などの人手不足を聞いている。後継者対策として若者や女性の方の活躍、作業などの人手不足については集落を超えた共助へ取り組みの検討が必要と考えている。

問 地域課題解決に向けてのコミュニティへの働きかけの進展は。

村長 コミュニティ単位で実施したアンケートが令和3年度に終了した。今後調査結果をもとに今一度検討をしてもらいたいと考えている。行事中

心の事業を見直し、助け合う事業へのシフトが重要でそういった議論が深まることも期待している。
問 課題解決に取り組むコミュニティや集落へ、村はどのような支援ができるか。

村長 まずは地域での話し合いを促す必要があり、具体的な事業を行う際の財政支援も考えている。コミュニティの補助金については、一律の配分方式を改め、事業実施単位での補助事業制度を検討している。

問 コミュニティ事業のシフトは村の支援が必要では。
村長 コミュニティで様々な課題を出してもらい、行政と一緒に考えていきたい。



新潟関川風力発電と村の責任

村長 事業運営に村は関与しない



かわさきてつや 川崎哲也 議員

問 同事業による環境への悪影響や山地災害があった場合の村の責任は。

村長 村は責任を負うことはない。環境への悪影響も環境アセスメントで事前に調査されると考える。事業計画や進捗については事業者から適宜報告をいただいている。

学校教育と村の伝統文化継承

問 村の伝統を学校ではどのように学んでいるか。

教育長 ふるさと学習の授業、稲作体験や大蛇祭参加を通じて学んでいる。
問 村の伝統文化教育に携わる教員も、村内各地の行事等に参加すべき

と考えるが村の考えは。
教育長 指導計画内であれば可能である。勤務時間外の行事参加は教員各人の判断に委ねられる。

**令和6年度
コロナワクチン事業**

問 同ワクチン被害者による集団訴訟が起こされるなど、国のワクチン事業に対する不信不安が国民の中に広がっているが。
村長 予防接種法の定めにより、村はワクチン接種を行わなければならない。村でワクチン事業の見直しや、在り方の検討は行わない。



風力発電イメージ画像

介護予防に子ども達の参加を

村長 機会を増やせるよう努めたい



近 敬 志 議員

問 未認定の第1号被保険者に対する就労ニーズの把握と支援はどのような形で行なっているのか。

村長 高齢者の就労ニーズについては特に行っていない。シルバー人材センターやボランティアセンターの運営の支援を行っている。その結果として、生きがいや健康維持となり介護予防につながると考えている。

問 健康づくりに無関心な人へのアプローチはしているか。

村長 コラッシェを活用した介護予防教室やフレイル教室、地域の茶の間の支援を行っている。参加者は女性の割合が多いため、今後、男性が参加しやすい事業も展開して

行っていく。

問 具体的に今やっていることはあるか。

健康福祉課長 男性のみを対象にした事業は行っていないが、興味を持つような事業を検討している。来年度当初予算に計上できるように検討したい。

問 子ども達の参加は、普及や啓発活動の水平展開を期待できるが、いかに考えているか。

健康福祉課長 村内での事例もあり、子ども達が高齢者の方と一緒に、レクリエーションや食事をする機会を増やせるよう努めていきたい。



地域の茶の間

議 会 改 革

関川村議会基本条例制定に向けて

議会基本条例とは、議

会運営の原則や村民と議

会、議会と村長との関係

等について、議会の基本

姿勢を明文化したもので

す。その内容は、これまで

で関川村議会が積み重ね

てきた議会改革の成果を

集約したものであり、村

民の負託に応える議会に

なることを目的としてい

ます。

議会基本条例制定の取組

み

■令和6年1月

議会改革特別委員会を

設立、制定に向けての検

討項目を次のように決定

しました。

・ 目的と目指す議会像

・ 議会と議員の活動原則

・ 村長と議会との関係

・ 議会運営と権能発揮

・ 議会改革の推進と検証

令和7年3月に条例の素

案をまとめる予定です。

制定することで今後どうなるのか

条例に従い実践する取

組みとしての検討項目。

・ 村民に開かれた議会

・ 活発な議論を展開する

議会

・ 政策提言ができる議会

・ 村民の声を行政に反映

する議会

等があります。それによ

り、

知らせします。

■平成28年10月

議会活性化対策調査特別委員会設立、平成

31年3月まで16回の審議を経て次のような改

革を実施し、その後5年間実践活動しました。

・ 定例会議一般質問で一問一答制の導入

・ 通年会期制の導入

・ 村長専決処分事項の指定

・ 広報対策特別委員会を常任委員会化

・ 議案での質疑の回数制限を撤廃

・ 関川村議会運営規定を制定

・ 議案での質疑の回数制限を撤廃

・ 関川村議会運営規定を制定

・ 議案での質疑の回数制限を撤廃

・ 議案での質疑の回数制限を撤廃

・ 議案での質疑の回数制限を撤廃

・ 議案での質疑の回数制限を撤廃

・ 議案での質疑の回数制限を撤廃

議会モニター『アンケート』

令和6年6月定例会議アンケート (主な意見を抜粋)

1. 議会を傍聴しての感想…

議員の質問の主旨、要点が不明。
質問の内容、仕方を研究すべき。
議会のイメージが想像していたのと違った。
全体的に議員のレベルが低く、建設的な議論ができていない。

2. 議会に対する要望…

質問内容を熟知し、質問すると、行政側の回答も聞きやすくなると思った。
村民の安心安全、村の経済発展を図る議会活動を期待している。
村にはこんな問題がある、なぜ問題なのか、どうしたら解決できるか、という建設的で本当に村に必要な議論をしてください。

議会だより第135号アンケート (主な意見を抜粋)

1. 写真やレイアウトについて…

明るい。
カラー写真で目を引く。
季節感と村のシンボル（桜と道の駅大型遊具）の対比が素晴らしい。
5月中旬発行のなのに桜？。
記事によっては横書きも読みやすいと思う。

2. 関心を持った記事は？…

「村民の声」は毎回楽しみにしている。
道の駅コンビニ誘致計画。
いわふね森づくりセミナー。
予算審査特別委員会（抜粋であるが具体的で良い）。

3. 議会について得たい情報は？…

議会基本条例制定への取り組み。
議会への陳情の実情（内容や結果など）。
議員個々の活動。
歳入に関すること。

4. その他の意見…

格段に読みやすくなった。
フォントを統一した方が読みやすい。
村民と議会をつなげる議会だよりの作成を心掛けてください。
議会開催～議会だよりの発行の期間を短縮できないか？
簡潔すぎて、分かりにくいところもある。

村民の声

我が家の子どもたち

さとう よし たか
佐藤 視 卓さん
(朴 坂)



我が家の子どもたちは、女川小学校の生徒数は田麦分校も含めて八十人前後が通っています。放課後は、自転車で友達の家へ行ったり、裏山で友達と探検したりして遊んでいました。

現在では、村内の小学校が統合して一つになり、子どもの同級生は女川地区には、数人しかおらず、子どもが遊びに行くのにも親が送っていかねばならない環境です。気軽に子ども同士で遊びに行ける機会は、かなり少なくなりました。



そんな子どもたちですが、長男と次男は小学校から帰ってくる部活やスポーツを通して、心と身体と技術、チームワークなど仲間と一緒に自分を磨いていって欲しいです。スポーツのコーチの方々は仕事終わりの練習にとても感謝しています。現在、中学校の先生方の働き方改革に対応し、中学校部活動の地域への移行が進められ、また部活動への外部指導者の導入、中学生がクラブチームに所属し、大会に参加することなども認められました。

我が家には4人の子どもがいます。長女と次女はソフテニスを、長男と次男はバスケットをしています。それぞれ部活動やスポーツのコーチの方々に指導していただきながら、チームワークや技術の向上を目指して練習に励んでいます。部活やスポーツを通して、心と身体と技術、チームワークなど仲間と一緒に自分を磨いていって欲しいです。

市町村でも少しずつ始まっています。閔川村では段階的に休日の部活動を学校から地域団体へ移行していく計画になっています。指導者にも生徒にも、そして地域にもメリットのある部活動になっていけばと思います。

災害前のように、列車が米坂線を走る姿に思いをよせて・・・ (和)

編集後記

令和4年8月の豪雨災害から丸2年となります。被災したJR米坂線は、現在も一部区間で運休が続いています。

JR東日本新潟支社は、JR単独での復旧は難しいとの見解を示しています。この先、復旧検討会議でどのような検討がなされていくのか注視するとともに、閔川村議会としても、沿線議会と連携し活動していきたいと思えます。

議会広報常任委員会

- 委員長 加藤つや子
- 副委員長 加藤和泰
- 委員 近 壽太郎
- 委員 鈴木 紀夫
- 委員 近 敬志
- 委員 川崎 哲也